

■ 第4講

総合テーマ：『人とつながり ～まちを元気に全国にひろがるコミュニティナース～』

日時：2019年7月23日（火）

会場：名古屋栄ビルディング 特別会議室（12階）

■講師：中澤 ちひろ 氏（（株）Community Care 代表取締役）

■テーマ：『人とつながり まちを元気に～全国にひろがるコミュニティナース～』



コミュニティナースとは、地域を取り巻く様々な環境変化の中で、多様なケアを実現するため、従来の訪問看護の枠を超えて、暮らしの中で住民と知り合い、“毎日の嬉しい・楽しい”と“心と体の健康”を住民と一緒に考え、実践する人材です。

コミュニティナースプロジェクトは、①少子高齢化、地域医療の限界、②自治会機能、地域コミュニティの限界、③看護師の新しい働き方など、全国共通の課題を背景にコミュニティナースを発掘・育成するプラットフォームです。「自由で多様な実践」のモデルは、100例100通り存在します。各地域の実情に合わせ、医療職が持つ役割を、地域の多様な主体が分かち合い、担う、新しいケアの仕組みづくりから始まった活動は、健康で幸せな人があふれる地域づくりを目指す新しい取り組みとして全国各地に広がっています。

■講師：佐藤 満 氏（島根県雲南市政策企画部 部長）

■テーマ：『雲南ソーシャルチャレンジバレー～子ども×若者×大人×企業 チャレンジ～』



雲南市では、人口減少、高齢化が顕著です。このため、チャレンジの連鎖による持続可能なまちを目指し、子ども、若者、大人各層のチャレンジを促し人材を育てています。

NPO法人「おっちラボ」を中心に運営する幸雲南塾では110名以上のローカルチャレンジャーを輩出・起業、約60名の新規雇用を生んでいます。そのひとつ、（株）Community Careは在宅療養を支える訪問看護事業に取り組み、当初の3名から11名に拡大し、Community Nurse Company（株）は暮らしの中で日頃から住民の健康に寄与する活動を中心に、全国を対象にコミュニティナース育成に取り組んでいます。また、大人チャレンジの例として、市内全域で地域課題を住民自らが事業化して解決する30組織の地域自主組織を立ち上げ、それぞれ特色ある活動を展開しています。市内外の企業も加わり、雲南市ではソーシャルチャレンジャーが育ち、集うまちづくりに取り組んでいます。